

絆 津波からいのちを守るために —— 目次

| | |
|---|----------|
| まえがき | 1 |
| 第1章 日本列島を襲う津波の脅威 | 7 |
| 日本列島を襲う津波の脅威 東北大学災害科学国際研究所長 今村 文彦 | 8 |
| 世界の津波災害記録と今後の南海トラフ地震津波 高知工科大学学長 磯部 雅彦 | 19 |
| 第2章 津波防災を考える | 29 |
| 2-1 語り継がれる津波の教訓 | |
| 濱口梧陵と稲むらの火～我が国の津波防災の起源、広村堤防～ 稲むらの火の館館長 崎山 光一 | 30 |
| 津波の教訓から整備された田老堤防と防災教育 岩手県宮古市役所 危機管理監 芳賀 直樹 | 35 |
| 奥尻島を襲った津波と、暗闇の中の避難 東北大学災害科学国際研究所助教 定池 祐季 | 40 |
| 世界最大水深に建設された釜石港湾口防波堤 (大水深の難工事へ再挑戦！ 短期間で成し遂げた復旧工事) 国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所長 晴山 真澄 | 44 |
| 生き抜く力を育んだ釜石の防災教育 東京大学情報学環特任教授 片田 敏孝 | 48 |
| 2-2 東日本大震災の教訓を未来に繋げる | |
| 未来に繋ぐ東日本大震災の教訓 防災文化を考える 東北大学災害科学国際研究所長 今村 文彦 | 52 |
| 東日本大震災の津波被害を教訓とした津波警報の改善 気象庁火山監視課長 中村 浩二 | 57 |
| 津波が船舶を被害者・加害者に変える 神戸大学名誉教授 久保 雅義 | 63 |
| 「きたかみ号」津波体験記 太平洋フェリー株式会社 船長 川尻 稔 | 68 |
| 防波堤による津波軽減と里浜づくり 阿字ヶ浦・磯崎里浜づくり実行委員会 会長 黒澤 広忠 | 73 |
| 仙台塩釜港の航路啓開～緊急確保航路の制度化 (前半) 一般社団法人日本埋立浚渫協会東北支部長 後藤 良平 (後半) 元関東地方整備局東京湾口航路事務所工務課長 古川 正美 | 78 80 |

| | |
|--|-------------------|
| 緊急排水による仙台空港の早期復旧に向けて 国土交通省東北地方整備局河川部河川環境課建設専門官 石井 貴範 | 83 |
| フェリーによる支援物資・要員の輸送 津軽海峡フェリー株式会社 管理部 総務チーム 大澤 潤 | 86 |
| くしの歯作戦 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所大船渡維持出張所長 外崎 高広 | 90 |
| 「世界津波の日」高校生サミットにかけた思い 元高校生サミット議長（和歌山県立日高高等学校卒） 中井 充歩 | 95 |
| 産学官民の連携による震災の教訓の伝承 ～「3.11 伝承ロード推進機構」の発足とその活動～ 一般財団法人3.11伝承ロード推進機構事務局長 原田 吉信 | 99 |
| ふくしま浜街道「桜プロジェクト」 特定非営利活動法人ハッピーロードネット理事長 西本 由美子 （寄稿1）秋田大学1年 酒井 郁澄 （寄稿2）福島県立相馬高等学校3年 清信 早希 | 106 109 110 |
| コラム | |
| 津波を考える施設 東日本大震災津波伝承館 —いわてTSUNAMIメモリアル— 各地の震災伝承施設 過去から現在、そして未来へつなぐ防災・減災の声 — 自然災害伝承碑でみる津波災害 — | 112 117 119 |
| 第3章 自助・共助・公助で取り組む津波防災 | 123 |
| 3-1 津波防災の3要素 ～自助・共助・公助～ 東日本大震災の教訓を踏まえた津波防災の考え方 関西大学社会安全研究センター長 河田 恵昭 | 124 |
| 津波防災地域づくり 国土交通省水管理・国土保全局海岸室 | 135 |
| 3-2 自助・共助を育む各地の取り組み | |
| 地域一体で取り組む津波防災対策 岩手県久慈市 岩手県久慈市役所 総務部消防防災課長 田中 淳茂 | 139 |
| 地域一体で取り組む津波防災対策 和歌山県串本町 和歌山県串本町長 田嶋 勝正 | 144 |
| 地域一体で取り組む津波防災対策 高知県黒潮町 高知県黒潮町役場 情報防災課南海地震対策係長 宮川 智明 | 149 |
| 防災意識の啓発について 岩手県釜石市 岩手県釜石市役所 産業振興部次長兼国際港湾産業課長 猪股 勉 | 154 |

| | |
|--|-----|
| 全国に先駆けた観光防災まちづくり 静岡県 伊豆市 静岡県伊豆市役所 総務部土肥支所長 山口 雄一 | 159 |
| 「伝承する」を制度化することの意味と意義 公益社団法人 3.11 みらいサポート 藤間 千尋 | 164 |
| 「15分ルール」と共助の持つ意味 名古屋市消防団本部分団長 田中 和七 | 169 |
| 「家庭」という場所が人を育む NPO 法人みやぎ子ども養育支援の会理事長 木村 孝禪 | 175 |
| 船員・作業員と船舶を守る 鹿島石油株式会社 環境安全副所長 上田 勉 | 180 |
| 石油コンビナートを守る 株式会社気仙沼商会 代表取締役社長 高橋 正樹 | 184 |
| 海上輸送と陸上輸送の結節点の機能を守る 港湾BCP、水際・防災連絡会議 横浜市役所 港湾局政策調整課長 成田 公誠 | 189 |
| 臨海部企業も参加した大規模津波防災総合訓練 国土交通省近畿地方整備局港湾空港防災・危機管理課長 宮本 武紀 | 195 |
| 株式会社日本製紙 石巻工場におけるBCPと企業再生 株式会社日本製紙 石巻工場 村上 義勝 | 200 |
| 3-3 公助の取り組み | |
| 津波予測・観測の最新事情 東北大学災害科学国際研究所所長 今村 文彦 | 206 |
| 国土強靱化、大規模津波への備え 京都大学大学院教授 藤井 聡 | 209 |
| 和歌山県の津波避難対策について 津波による犠牲者を『ゼロ』とするために 和歌山県総務部危機管理局防災企画課 片家 康裕 | 213 |
| 「防波堤の粘り強い化」が啓いた「高知港の三重防護」 国土交通省四国地方整備局次長 池田 直太 | 220 |
| 粘り強い防波堤の整備（釜石港、大船渡港の整備等） 元国土交通省東北地方整備局仙台港湾空港技術調査事務所長 佐藤 正勝 | 226 |
| 粘り強い海岸堤防の整備（仙台湾南部海岸） 国土交通省東北地方整備局河川部河川計画課建設専門官 山影 修司 | 231 |
| 水門・陸閘等の遠隔操作・自動化 （前半）元静岡県沼津土木事務所主査 石井 哲 | 236 |
| （後半）静岡県交通基盤部漁港整備課主査 勝呂 恵多 | 238 |
| 海岸林等のかさ上げによる津波対策「静岡モデル防潮堤」 静岡県交通基盤部河川企画課海岸企画班長 横山 卓司 | 240 |

| | |
|---|-----|
| 人口・産業集積地区の防護（和歌山下津港海岸） 国土交通省近畿地方整備局和歌山港湾事務所長 松葉 秀樹 | 245 |
| 第4章 津波防災に貢献する世界の津波研究 | 251 |
| 稲むらの火から大きく変わった津波避難の技術 濱口梧陵国際賞への想い 国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会会長 稲田 雅裕 | 252 |
| 世界の津波研究 国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会事務局 | 255 |
| 第5章 技術と絆で深める津波防災 | 291 |
| 濱口梧陵の堤防築造と現代社会の脆弱性 ヤマサ醤油株式会社代表取締役会長 濱口 道雄 | 292 |
| 津波防災技術の進展と展望 京都大学名誉教授 高山 知司 | 296 |
| 南海トラフ地震津波への防災対策 高知工科大学学長 磯部 雅彦 | 309 |
| 宇宙を利用した防災インフラへの取り組み JAXA衛星利用運用センター長 平林 毅 | 314 |
| 最後は人と地域の絆が命を救う 東京大学情報学環特任教授 片田 敏孝 | 320 |
| あとがき | 324 |
| 参考（ANNEX）濱口梧陵国際賞 歴代受賞者 | 325 |
| 索引 | 330 |